奴隷解放は戦局を優位にするため

リンカーンは奴隷解放宣言によって黒人（混血のものも含む）の奴隷を解放したことで賞賛される。しかしながら、リンカーンは本来奴隷解放論者ではなく（個人的には奴隷に反対していた）、実際には連邦軍によって制圧された南部連合支配地域の奴隷が解放されただけであって、奴隷制が認められていた北部領域では奴隷の解放は行われなかった。北軍側には５つの奴隷州があり、国際社会を欺いたに等しいこの宣言は、英仏が南部連合を支援するような融資や取引をやりにくくして、戦費や兵器を調達しにくくするために、および南部州における奴隷の反乱・逃亡･ボイコットの効果を狙い、実施されたものであった。事実、南部有利の戦況はやがて揺らいでいった。

ウィキペディア記事「エイブラハム・リンカーン」